

# 今、何の病気が流行しているか！

## 【感染症発生動向調査事業から】

平成31年3月25日（月）～平成31年3月31日（日）〔平成31年第13週〕の感染症発生状況

第13週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) インフルエンザでした。

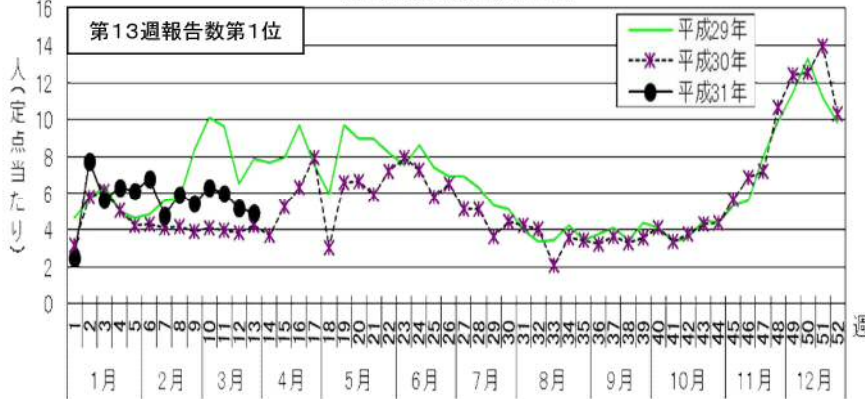
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は4.92人と前週（5.16人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.49人と前週（3.05人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

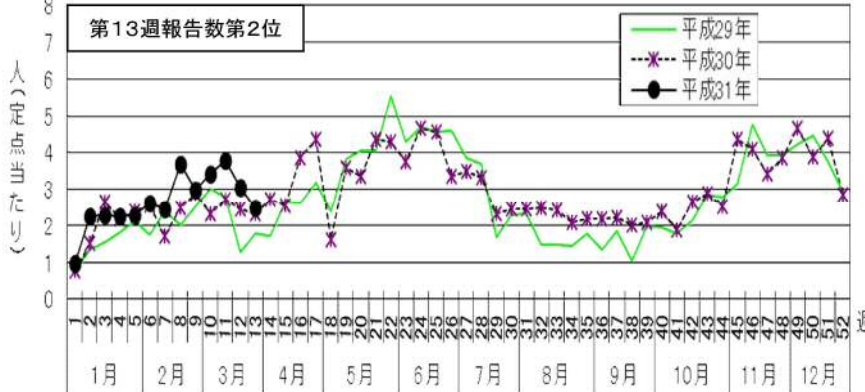
インフルエンザの定点当たり患者報告数は0.72人と前週（0.98人）から減少し、例年より低いレベルで推移しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



## 全国各地で麻疹（はしか）が発生しています！！

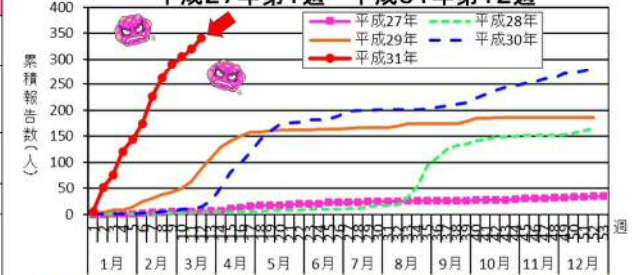
現在、全国的に麻疹の患者報告数が増加しており、川崎市においても平成31年第13週（3月25日～3月31日）に1件の報告がありました。

麻疹は基本的にはワクチンで予防できる疾患です。ワクチン接種歴のある方が発症することもあります。多くが修飾麻疹として未接種の方に比べて軽症の経過をたどります。定期予防接種の対象の方は、確実に接種を済ませ、感染及び重症化を防ぎましょう。

### 麻疹(典型例)、修飾麻疹の主な特徴

	麻疹(典型例)	修飾麻疹
潜伏期間	7～18日間 (最長21日程度)	麻疹(典型例)より長い
発熱	38℃程度の発熱が2～3日続いた後やや低下し、再び39℃以上の高熱が出現	高熱はみられず、発熱期間も短い
	全身性の丘疹で、濃紅色となり癒合傾向を示す	限局的で、赤みも薄い
	風邪様症状	ないことが多い
コブシ斑・色素沈着	ほぼ内側の特徴的な発疹や回復期の色素沈着などを認める	明らかなのは認めない
ワクチン接種歴・罹患歴	なし	ワクチン接種歴が1回以上又は未接種でも罹患歴あり
周囲への感染力	あり	弱いが感染源となる可能性あり

全国における麻疹累積報告数  
—平成27年第1週～平成31年第12週—



### 麻疹に感染した疑いがある場合

感染が疑われる場合には、事前に電話で症状や旅行歴などを伝えた上で、医療機関を受診しましょう。また、受診の際は、事前に**母子健康手帳**で**ワクチン接種歴**を確認し、**必ず**主治医に伝えてください。



麻疹の予防も兼ねて、麻疹風しん(MR)ワクチンの2回接種がおすすめです！



川崎市  
KAWASAKI CITY

発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局保健所・各区役所地域まもり支援センター  
(福祉事務所・保健所支所)

(問い合わせ先) 044-276-8250